



# 2024年12月期 第3四半期 決算説明資料

---

株式会社AVILEN（証券コード：5591）

2024年11月14日

1. 2024年12月期 第3四半期 決算サマリー
2. 事業概要
3. 2024年12月期 第3四半期 業績
4. 中長期的な戦略とビジネスアップデート
5. APPENDIX

# 2024年12月期 第3四半期 決算サマリー

# AIソフトウェア売上は継続して高い成長率をキープ、ビルドアップ売上は前年比横ばい推移、結果として全社の営業利益は前年比7.4%増で着地

売上高  
(3Q)

880百万円

前年比

+35.1%

AIソフトウェア売上高  
(3Q)

563百万円

前年比 +69.7%

ビルドアップ売上高  
(3Q)

317百万円

前年比  $\Delta$ 0.8%

売上総利益  
(3Q)

613百万円

前年比

+35.3%

営業利益  
(3Q)

118百万円

前年比

+7.4%

# エグゼクティブサマリー

## 2024年度全社方針

### Top Tierにフォーカス（アカウント戦略）

- AIXの本気度×事業規模×AVILENとの関係性で大口化する顧客を絞り込み
- 大口顧客に密着し、より深く幅広く顧客課題を掘り起こし、AIXを推進

### Tech×Bizで差別化

- AI開発力・組織開発力と事業理解の深さで、真に意味のあるソリューションを提供（AVILEN独自のビジネスモデルである事業シナジーの最大化）
- 実施したPJの中で、潜在的なニーズが大きいソリューションを横展開

### 非連続成長に向けたM&Aの推進

- M&AによるAIソフトウェア案件とビルドアップ案件のさらなる拡販・普及
- ロールアップ戦略によるAI業界におけるプレゼンスの向上、企業価値の拡大

## 2024年3Qまでの進捗

- CROの太田を中心としたアカウントリードチームを組成しLTVが順調に拡大（昨年対比40.3%成長）... P.27参照
- 大塚商会との連携も更に深化（共同開発した生成AIリテラシー研修/Microsoft Copilot活用・実践研修の自治体への提供、ChatMeeの拡販）... P.39~40参照

- ビルドアップは、E資格売上の縮小を新規リリースした生成Aの人材育成コンテンツによるクロスセル、神戸市の中小企業DXリーダー人材育成プログラムの監修提供等、カスタマイズ型コンテンツの展開に注力... P.30参照
- AIソフトウェアは、生成AIソリューションの展開を開始（営業活動の効率化・高度化実現、見積書・請求書内容のシステム登録自動化）... P.31,32参照

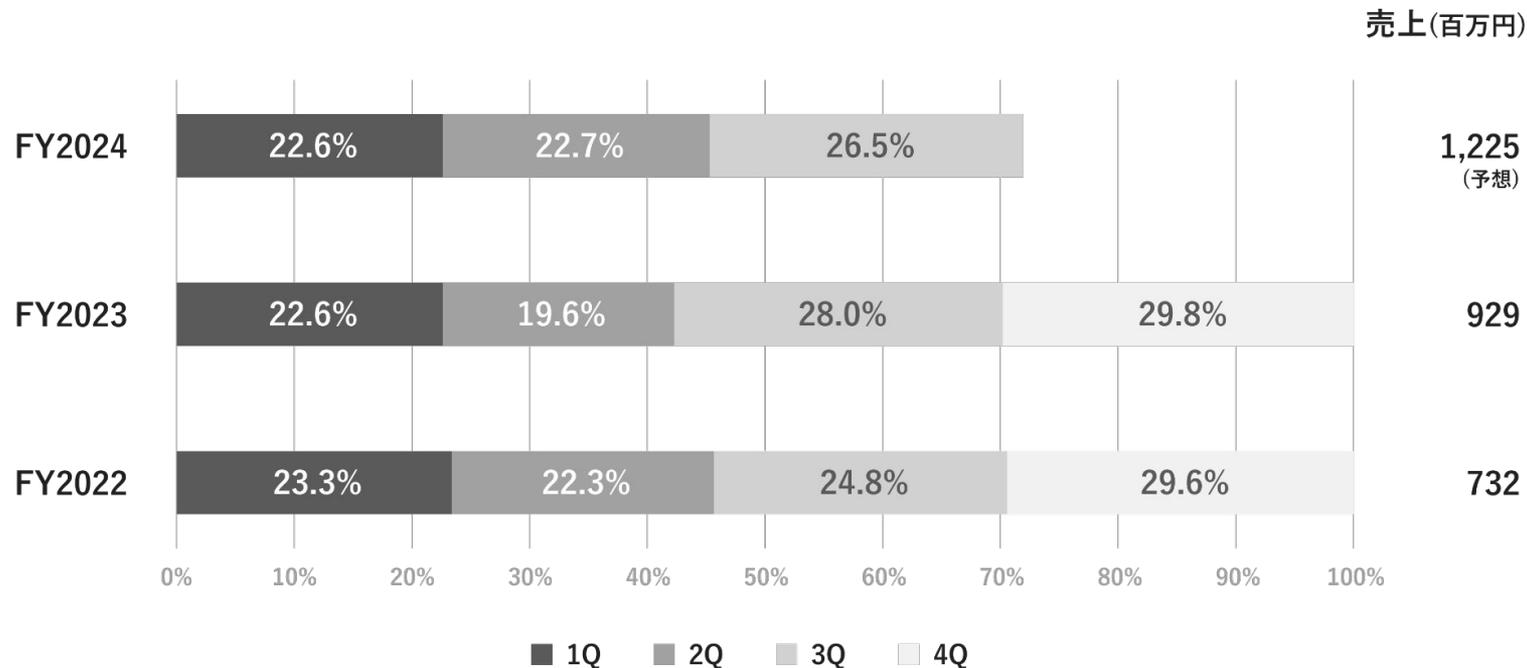
- 生成AI関連開発のエンジニア集団である株式会社LangCoreの株式100%取得による連結子会社化（業績の連結取り込みは2024年12月期4Qから開始）... P.42参照
- 早期にシナジーを創出し、AVILEN・LangCoreの短期的な収益向上と中長期的な事業拡大を目指す... P.43参照

## 業績

- 売上：880百万円、前年同期比+35.1%成長。特にAIソフトウェアは、活況な市場環境を背景に昨年対比+69.7%と大きく伸長。ビルドアップは、カスタマイズ型コンテンツ等のコンサルティング案件の受注が前年比約1.5倍と伸長するも、E資格市場のニーズ変化の影響あり横ばい推移。
- 営業利益：118百万円、前年同期比+7.4%成長。E資格市場のニーズ変化の影響をカスタマイズ型コンテンツ等のコンサルティング案件の獲得でカバーしつつある状況で、3Q時点では成長率が伸び悩んでいるものの、翌期にかけて改善見込み。

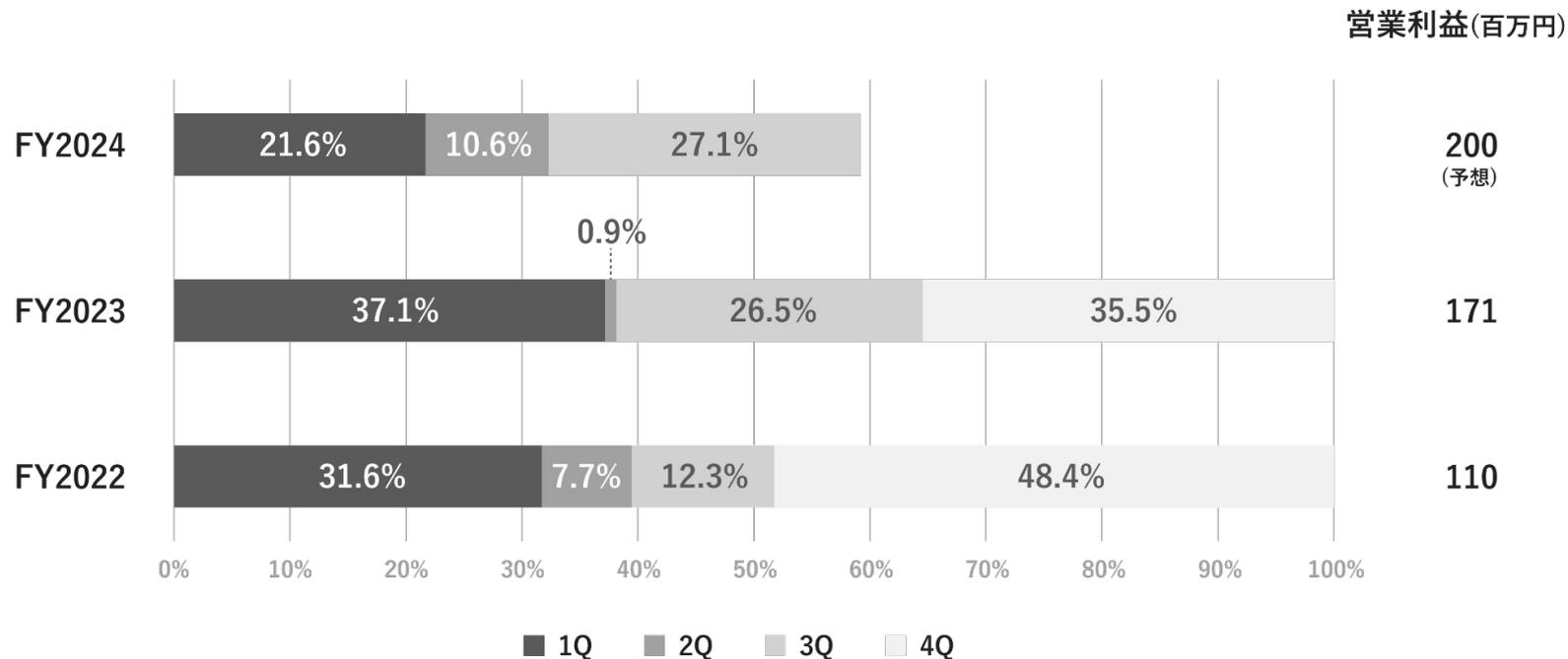
## 当3Qまでの売上高進捗率はAIソフトウェア売上の好調により過年度対比で上振れ

【通期売上予想に対する進捗状況】



## 当3Qまでの営業利益進捗率は前年対比で若干のビハインド(約5%)、 M&Aに伴うLangCoreの4Q業績取り込みも加味し通期達成に向け推進中

【通期営業利益予想に対する進捗状況】



# 事業概要

## Purpose

データとアルゴリズムで、人類を豊かにする



代表取締役

## 高橋 光太郎

東京大学大学院 修了

創業メンバーとしてAVILENに参画し、2021年から代表取締役。  
2023年にAVILENを東証グロースに上場。東京大学大学院を修了し、機械学習による即時的な津波高予測の研究に従事。金融データ活用推進協会標準化委員。



執行役員 CEO

## 松倉 怜

東京大学、ペンシルベニア大学経営大学院 (Wharton) Statistics/Finance専攻修了  
大学院でデータドリブン経営やデータ分析を学ぶ。経済産業省、外資系戦略コンサルファーム等を経て、大企業やスタートアップの戦略策定・新規事業創出、自治体のDX等を支援。自民党デジタル社会推進本部web3PT WGメンバーとして「web3ホワイトペーパー」のドラフトに従事。  
京都府DXアドバイザー、弁護士



技術執行役員

## 吉川 武文

東京大学 卒業

日本生物学オリンピック金賞・本選一位、合成生物学の世界大会iGEM金賞等の受賞歴を持つ。  
画像認識・時系列データ解析・言語処理等幅広い開発案件に携わるとともに、その豊富な実務経験を活かしE資格講座等の講座監修・講師を担当。



執行役員 CFO / 公認会計士

## 高田 拓明

立教大学法学部 卒業

大学卒業後、事業会社でのセールス経験を経て、有限責任監査法人トーマツに入社。FinTechをはじめ成長市場に属するクライアントの監査業務及びIPO準備支援に約5年間従事し、AVILENに入社。管理部長として、東証グロース市場へのIPOを牽引するなど経理財務を中心に強固な内部管理体制の構築に従事。2024年7月より執行役員に就任。



取締役 CSO

## 錦 拓男

早稲田大学大学院 修了

10年近い投資銀行のキャリアを有し、M&Aや財務戦略全般に精通。直近では上場企業の経営企画部の責任者として、資本業務提携やIR等の業務を経験する。財務、経理、総務、人事の責任者、大手企業とのアライアンス業務も担当し、上場企業7社との資本業務提携等を執行。



執行役員 CRO

## 太田 拓

東京大学大学院 修了

BCGプロジェクトリーダー、unilabo(現PRONI)執行役員を経てAVILENに入社。BCGでは製造業・通信・金融・小売・製薬等の業界でトランスフォーメーション、ターンアラウンド等々のテーマで戦略策定から実行支援に従事。unilaboでは基幹事業の責任者として5部署を統括し、事業グロースに従事。AVILEN入社後はビルドアップ事業の責任者や自らも担当をもちながら大企業向けアカウントをリード。



執行役員 CTO

## 蕭 勝夫

台湾国立聯合大学卒業、オーストラリアCurtin University修了

2008年に来日し、SaaS・ECサイト・ゲーム・SI等の様々な業態でエンジニアとして開発に従事。その後、約8年間ほどCTOやゼネラルマネージャーとして、IT戦略策定・開発組織構築・QA統括などを牽引。



執行役員 D&Aソリューション担当

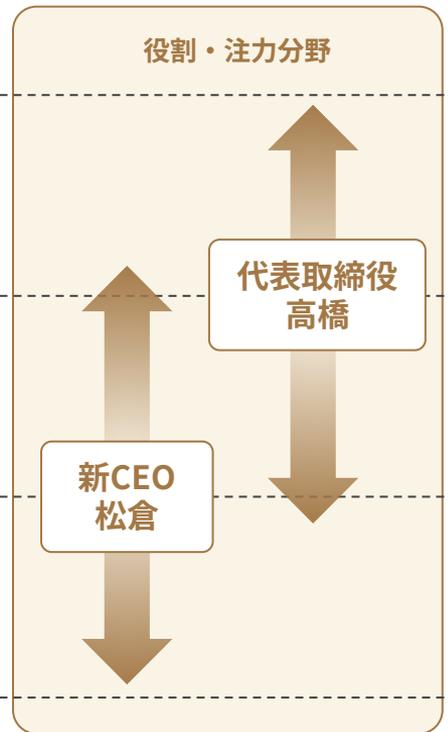
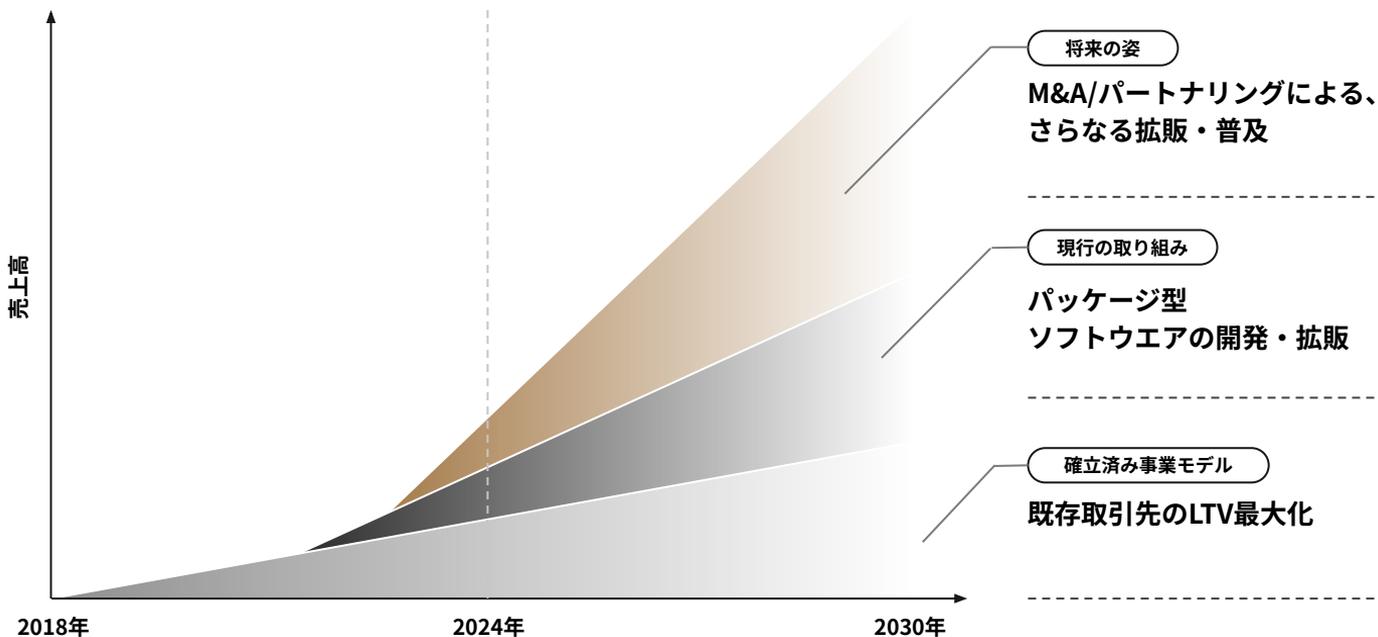
## 満野 翔

広島大学大学院 修了

コンピュータビジョン、機械学習、ディープラーニング領域を専門とするデータサイエンティスト。複数の国際学会へ査読付き論文の採択実績を持つ。2021年、AVILENに参画。AIソリューション事業の最年少マネージャーとしてIPOをはじめとする事業拡大、SaaS事業の立ち上げからグロースを牽引。データ・AI・デジタルを軸としたビジネスモデルの再構築とビジネスプロセスの根本的な変革を、広範な業界の企業に対して支援を行う。

# CEO松倉が、既存取引先のLTV最大化とコーポレートガバナンスを牽引。高橋は、AIソリューションの新パッケージ開発やM&Aに一層注力し、非連続成長を実現させる

中長期的な戦略（収益モデルの進化）



BUSINESS

# AIソリューション



AIエンジニア武者修行研修

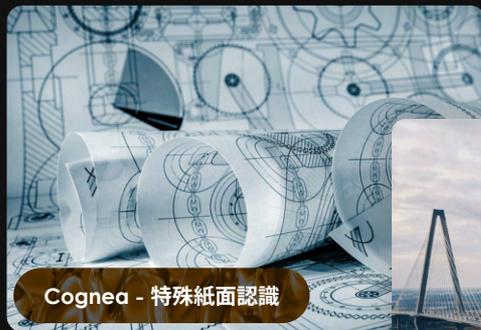
ビルドアップパッケージ



Instructea - LLM

パッケージ型 ソフトウェア (SaaS)

カスタマイズ型 ソフトウェア



Cognea - 特殊紙面認識



Findea - 異常・損傷検知



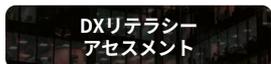
Genea - 画像生成



Estimea - データ分析・予測

## ビルドアップパッケージ

### 組織開発戦略



### 全社員向け



### ビジネスパーソン向け



### エンジニア向け



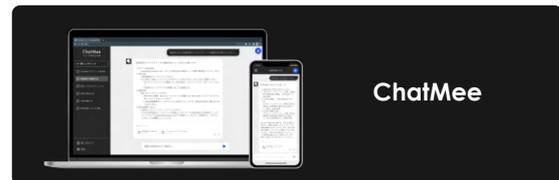
## カスタマイズ型 ソフトウェア

(技術コアモジュール)

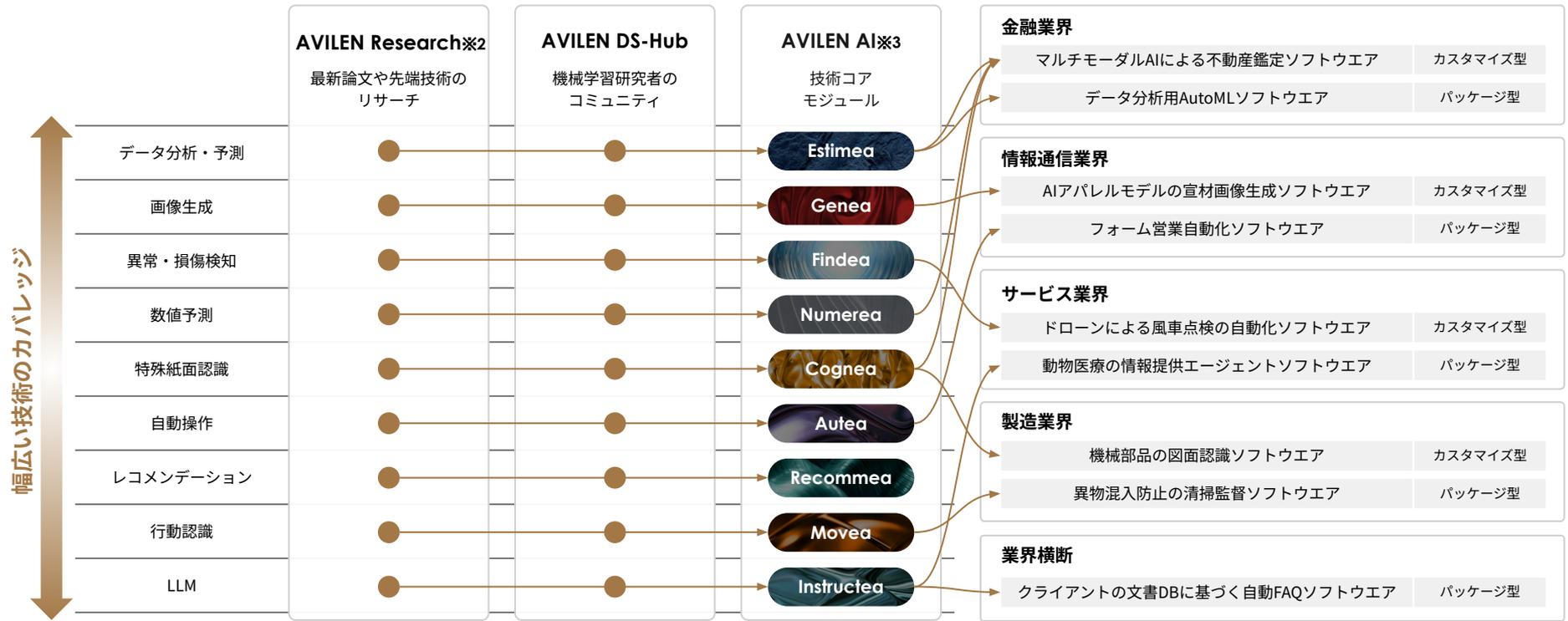


## パッケージ型 ソフトウェア

(SaaS)



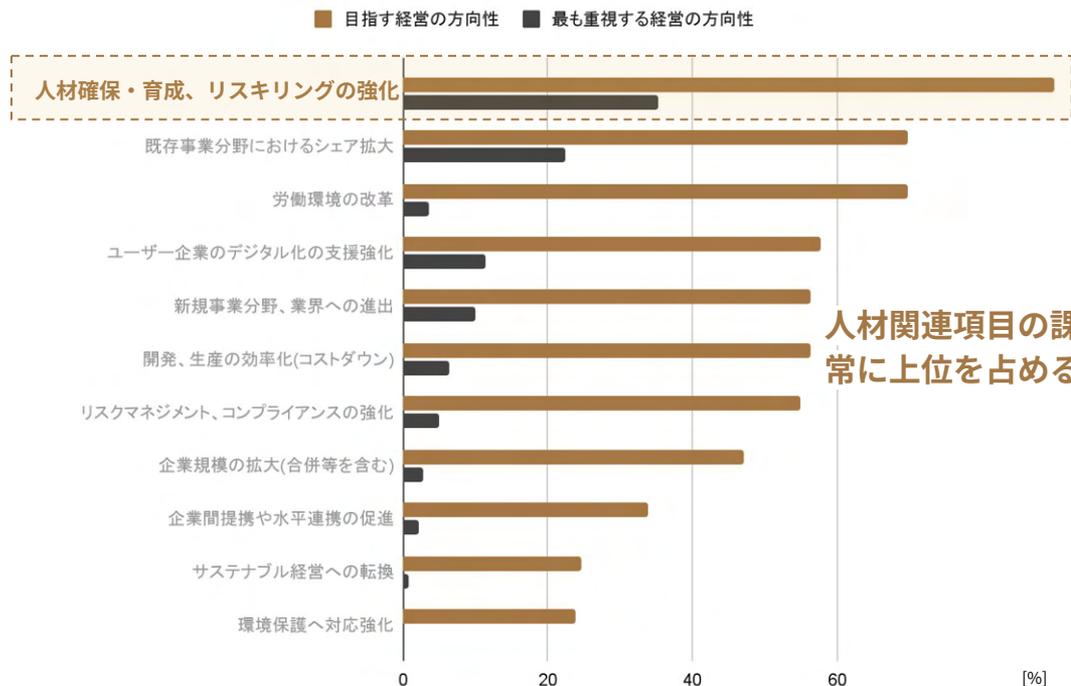
# 幅広い技術コアモジュールを活用し、特定の業界に限定されない幅広い顧客の課題を捉え、効率的かつマルチモーダル※1なソフトウェア開発を実現



※1 | テキストや時系列データ等複数のコアモジュールを組み合わせて開発するAIソフトウェア  
 ※2 | 最新論文や先端技術のリサーチし、AVILEN AIをアップデートする社内の仕組み  
 ※3 | AIソフトウェアを開発する際の基盤となる技術コアモジュール。AVILEN AIを活用することで効率的なAIソフトウェアの開発が可能となる

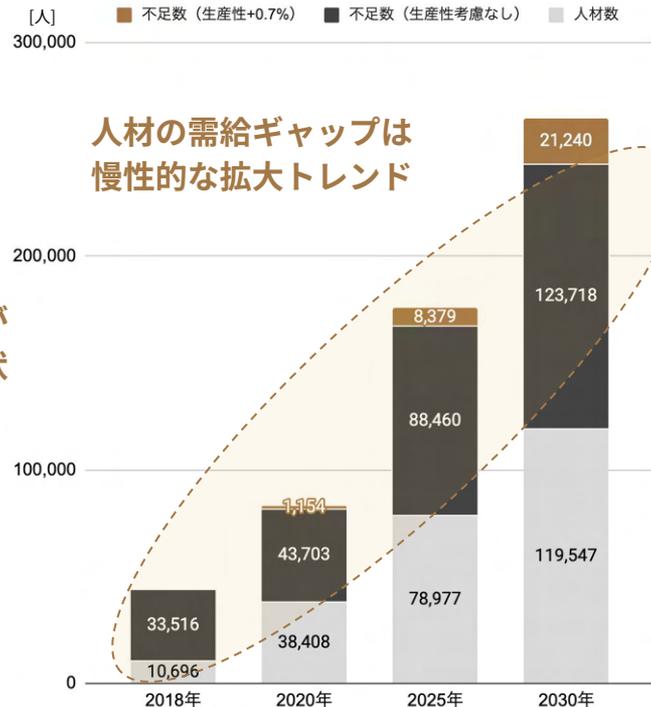
# 慢性的な人材不足 = 市場拡大のボトルネック = AVILENの優位性

## デジタル化による社会変化に応じた目指すべき経営の方向性



人材関連項目の課題が常に上位を占める現状

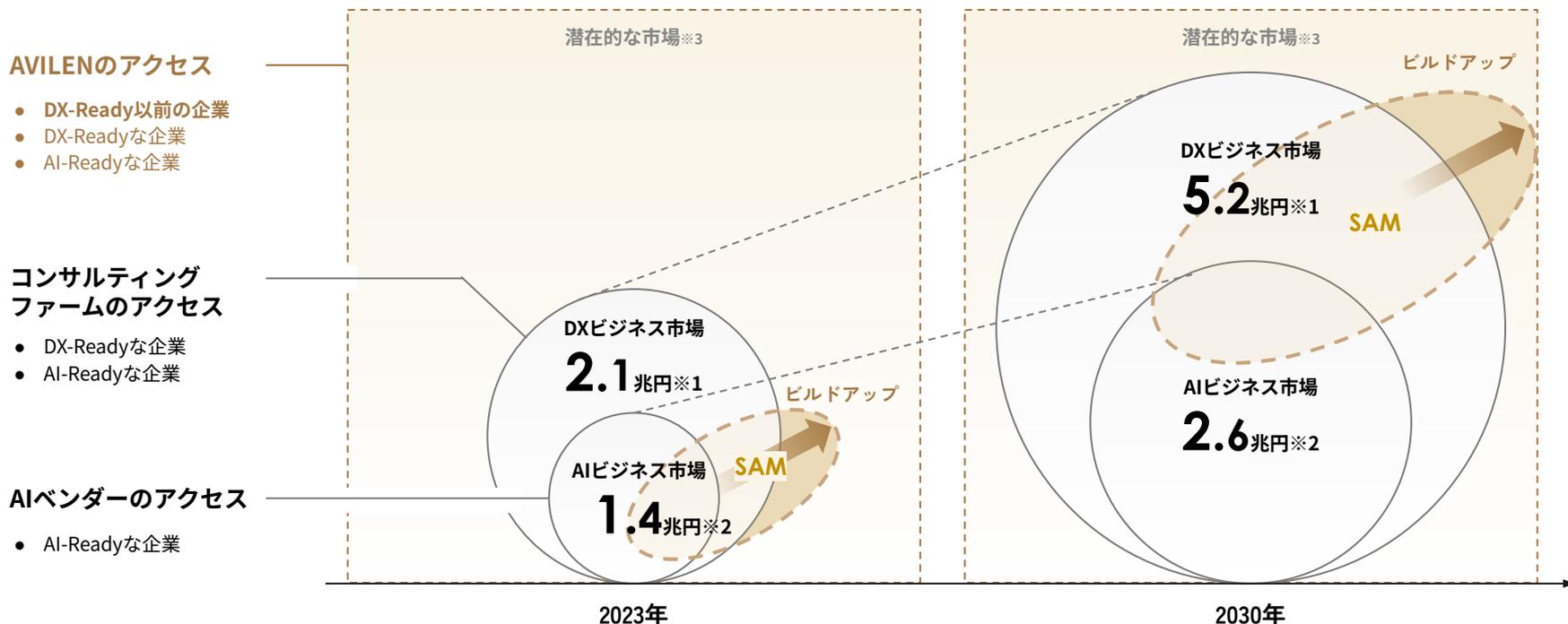
## AI人材の需給ギャップ



人材の需給ギャップは慢性的な拡大トレンド

出典：「デジタル化による社会変化と新しいテクノロジーの活用 情報サービス産業白書2024」より当社作成

# 「ビルドアップ」により潜在的な市場へアクセスし、AVILENがTAMを拡大



※1 | 富士キメラ総研「デジタルトランスフォーメーション（DX）の国内市場（投資金額）調査」より当社作成。日本におけるAIやIoTといったデジタル技術を活用し業務変革等のための投資額

※2 | 富士キメラ総研「人工知能ビジネス総調査」より当社作成。日本におけるAIを活用したサービス市場、アプリケーション市場、プラットフォーム市場の合計値。

※3 | DX-Ready以前の企業における潜在的な市場を当社にて定義したもの

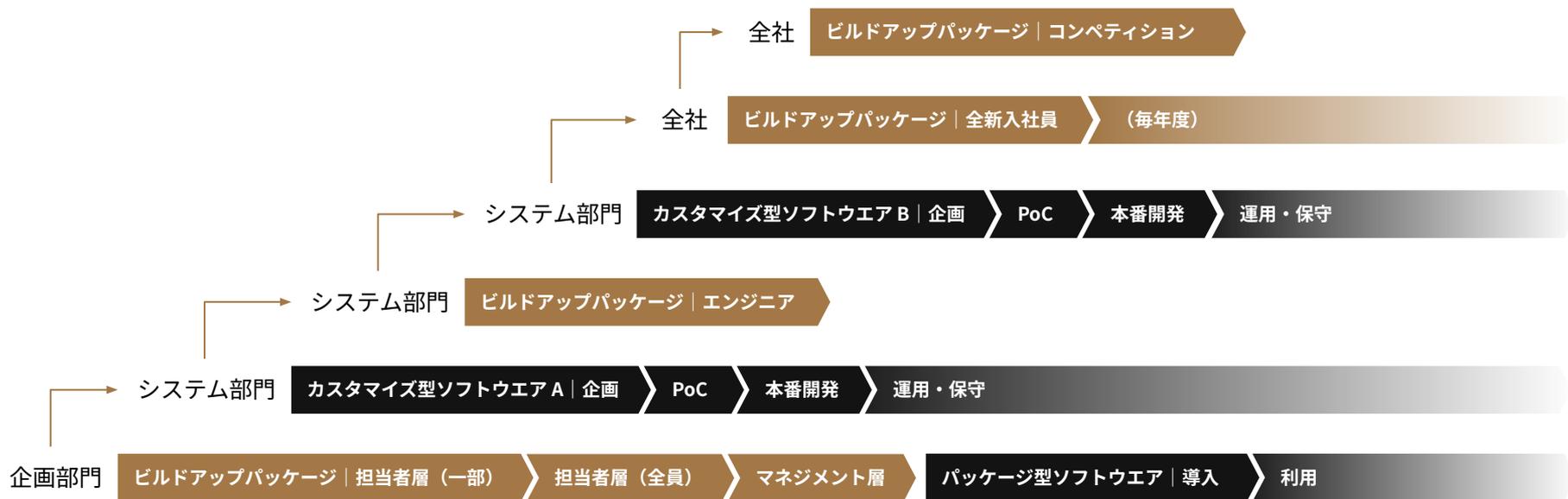


# ビルドアップパッケージにより企業のテクノロジー活用アビリティを強化。 AI搭載ソフトウェアによる課題解決まで「真の一気通貫モデル」を提供



顧客内における他部門への拡大、商品のクロスセルで高い継続率を実現。AI-Ready以前の企業がビルドアップパッケージを活用しAIリテラシーを向上、当該企業に対してシームレスにAIソフトウェアを提供

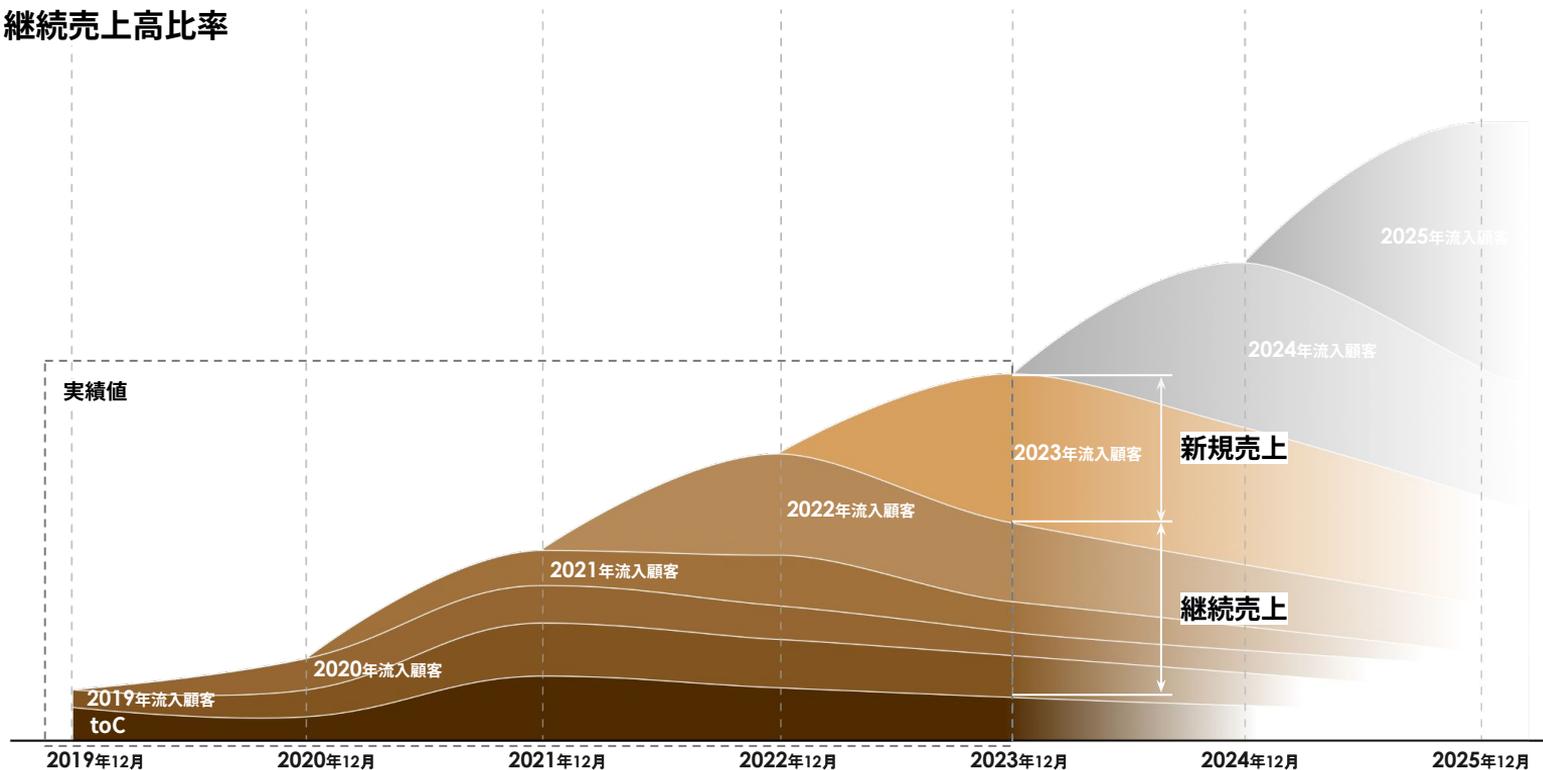
## LTV※1拡大の一般例



※1 | Life Time Valueの略称で、「顧客生涯価値」と訳される。一社の顧客が取引を始めてから終わりまでの期間（顧客ライフサイクル）内にどれだけの利益をもたらすのかを算出した指標

## 新規顧客数の拡大と安定的な積み上げ型成長を実現

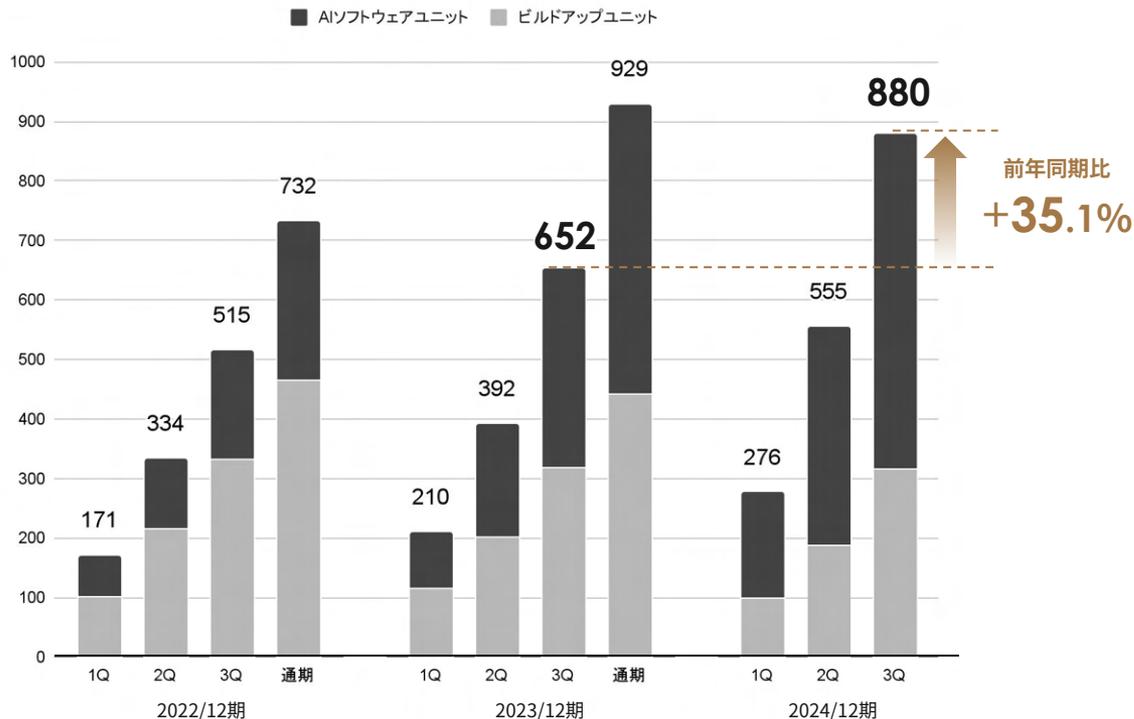
### 売上高と継続売上高比率



# 2024年12月期 第3四半期 業績

# 通期の売上高は880百万円、前年同期比では+35.1%で成長

## 四半期売上高推移 [百万円]



## 全社ベース

- 売上：880百万円。前年同期比では+35.1%で成長
- 2024年度全社方針であるアカウント戦略による大口顧客の開拓・深化が売上拡充に寄与

## AIソフトウェア

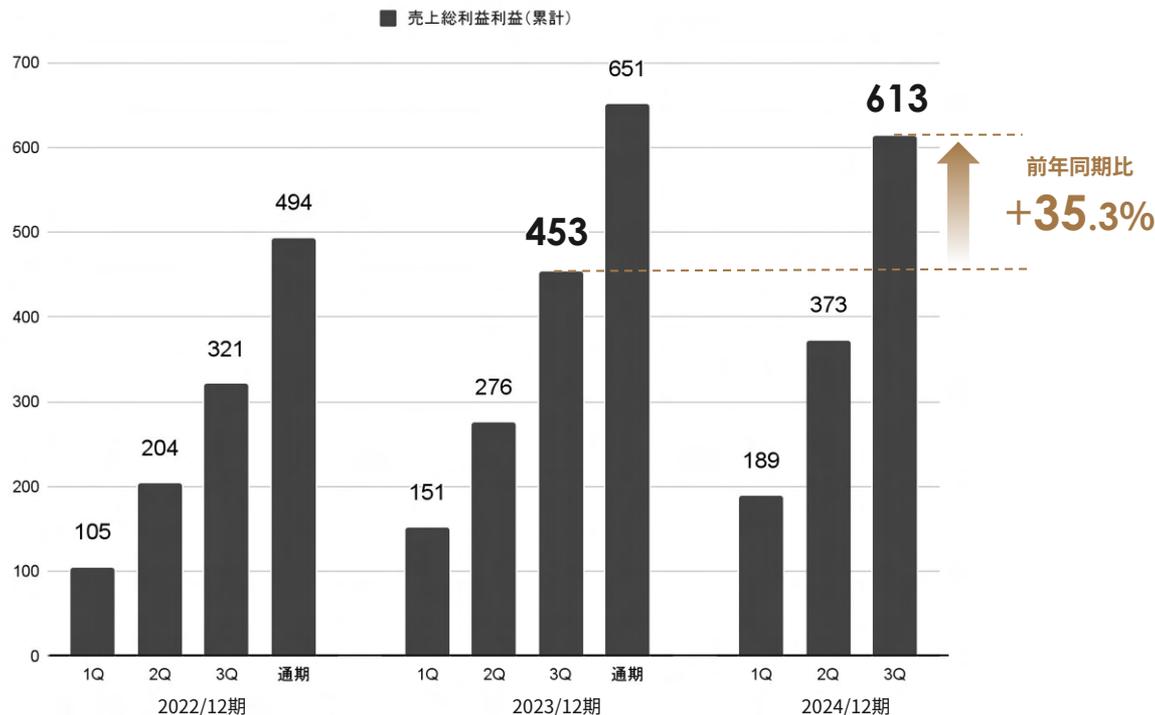
- 売上：563百万円（前年同期比+69.7%）
- 活況な生成AI市場を背景に、大型プロジェクトが通期で寄与しつつ、新規での生成AI案件関連プロジェクトの獲得、大口顧客との継続プロジェクトの積み上げ

## ビルドアップ

- 売上：317百万円（前年同期比△0.8%）。
- 大手企業の組織開発ロードマップの策定をはじめ、カスタマイズ型コンテンツ等のコンサルティング案件の受注高が当3Q時点で前年対比約1.5倍の約90百万円と伸長するも、E資格市場のニーズ変化の影響（受注高が前年対比30百万円程度減少）あり横ばい推移

## 通期の売上総利益は613百万円、前年同期比では+35.3%で成長

四半期売上総利益推移 [百万円]

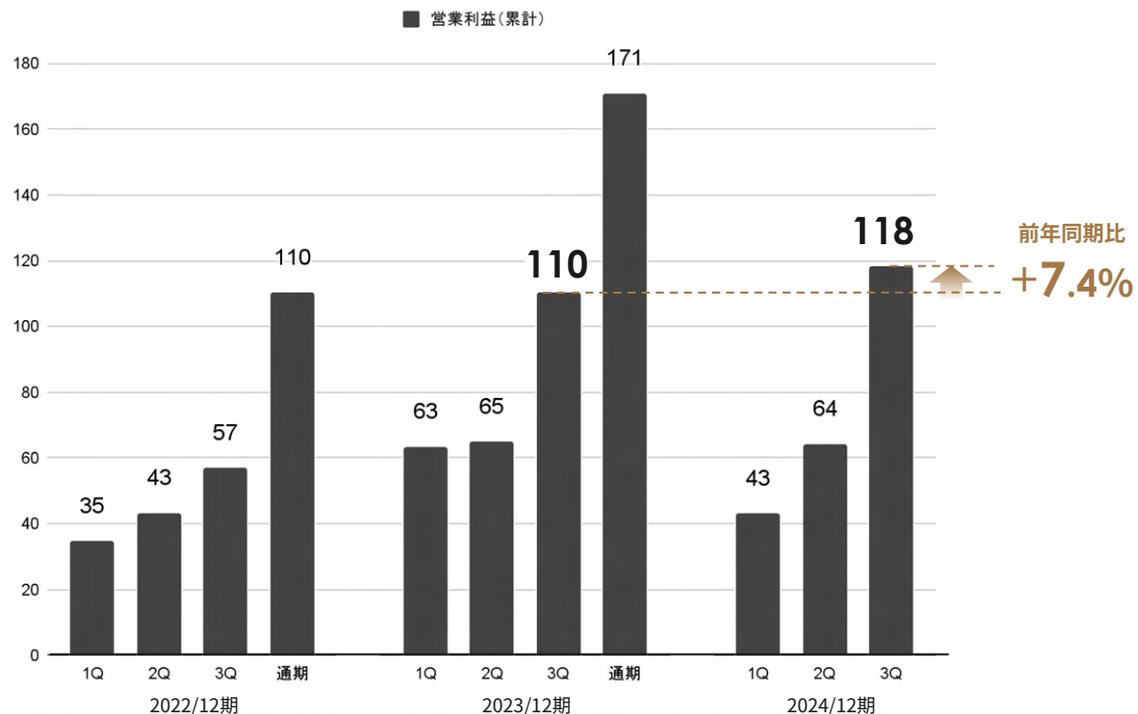


### 全社ベース

- 売上総利益：613百万円
- AIソフトウェアを中心に案件単価上昇傾向にあり、前年同期比+35.3%
- 売上総利益率：AVILEN DS-hubの活用含め適切なコストコントロールが出来ており、売上総利益率は69.6%と一定の水準確保

# 通期の営業利益は118百万円、2Q時点から大幅に積み上げ（前年同期比+7.4%）

四半期営業利益推移 [百万円]



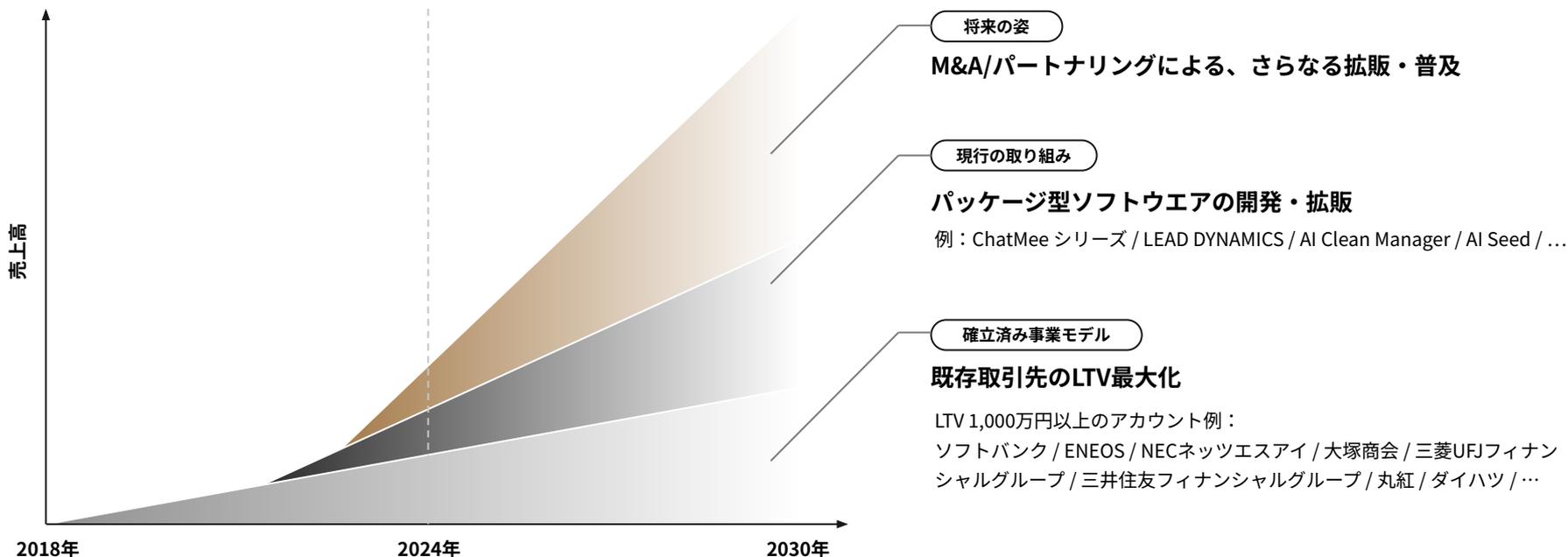
## 全社ベース

- 営業利益：118百万円（前年同期比+7.4%）
- 1Q時点では前年比△32.1%であり、2Qで大幅にギャップ縮小、3Qで前年同期比でプラスに転換
- 大手企業向けのカスタマイズ型コンテンツ等のコンサルティング案件の増加により、高利益率のE資格関連売上高の落ち込みをカバーしつつある状況であり、翌期にかけて改善見込み
- DShubの活用により変動費率は前年比△5.3%の15.0%まで低減、今後は変動費率の低いビルドアップの新たにリリースした生成AI関連コンテンツの売上高増加が営業利益率改善に寄与する見込み

# 中長期的な戦略とビジネスアップデート

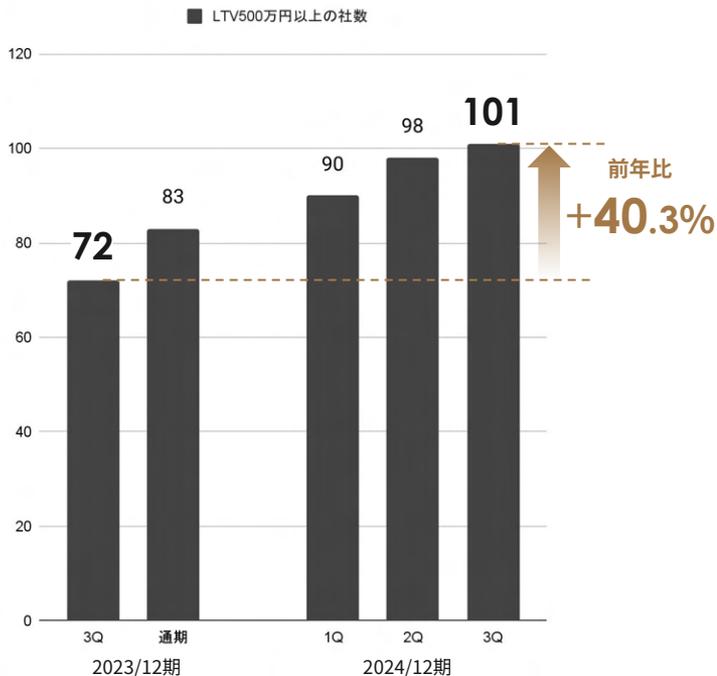
# 業界共通課題を解決するパッケージ型ソフトウェアを拡販。 M&A/パートナーングにより、さらに普及を加速させ非連続成長を実現させる

中長期的な戦略（収益モデルの進化）



# 重点顧客の選別及び、ビルドアップとAIソフトウェア間のクロスセルによる一気通貫でのサービス提供を徹底し、既存取引先のLTV最大化を目指す

LTV500万円以上の社数



LTV上位10社のLTV成長率

(2024年12月期3Q時点のLTV / 初回取引金額)

A社	金融	73倍
B社	製造	16倍
C社	情報・通信	42倍
D社	不動産	30倍
E社	情報・通信	32倍
F社	情報・通信	24倍
G社	情報・通信	168倍
H社	電気機器	520倍
I社	食料品	13倍
J社	サービス	16倍

## 現状の取り組み

- ビルドアップとAIソフトウェアのクロスセルを実施
- ビルドアップの顧客に、AI活用に向けたChatMeeやソフトウェア開発の提案及びAIソフトウェアの顧客に対し、現場への浸透を図るためにビルドアップの提案を実施

## 戦略

- 重点顧客の選別と一気通貫でのサービス提供を徹底
- サービス・プロダクト提供の拡大余地の大きい顧客を選定し、常駐を含めた密着サービスで顧客業務の理解と信頼関係構築を進め、一気通貫の提案を行う

## 目標

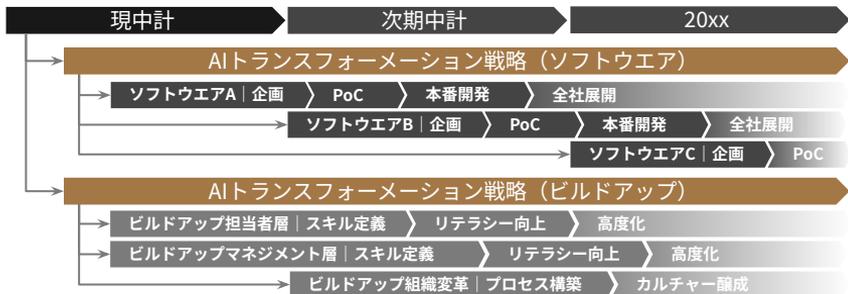
- FY24については、重点顧客の数と重点顧客からビルドアップとChatMeeを含めたAIソフトウェア間のクロスセルにより年間売上高を実績対比で数倍を目指す

# AIソリューション提案の範囲を企業の戦略策定支援へと広げ、より本質的な顧客価値を広範囲×長期間にわたり提供することでアカウントのLTV最大化を狙う



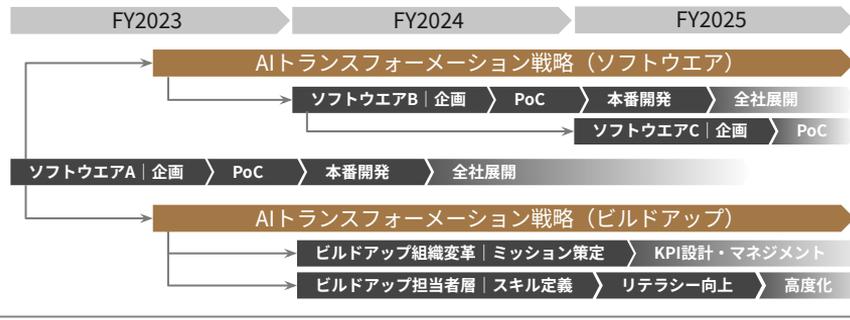
## 新規アカウントへのアプローチ例 (大手プライム上場メーカー)

- 顧客の中期経営計画からブレイクダウンし、AIトランスフォーメーション戦略を支援
- エグゼキューションとしてソフトウェアの長期パッケージを提供



## 既存アカウントへのアプローチ例 (大手自動車メーカー)

- ビルドアップ/ソフトウェアのデリバリーを通じて上流の課題を特定し、AIXビジョンマップを策定
- 範囲を拡大・長期化したビルドアップ/ソフトウェアのパッケージを提供



# 大塚商会と共同開発した、生成AIリテラシー研修/Microsoft Copilot活用・実践研修を府中市に提供。生成AIのビジネス活用に不可欠な要素を数時間に凝縮して学習可能に

8月23日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000209.000043360.html>)

## AVILENと大塚商会、共同開発した生成AIリテラシー研修/Microsoft Copilot活用・実践研修を府中市が導入

～生成AI・Copilotのビジネス活用に不可欠な要素を数時間に凝縮して学習できる～

株式会社AVILEN 2024年8月23日 10時00分



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、株式会社大塚商会（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大塚 裕司、以下「大塚商会」）と共同で、東京都府中市（市長：高野律雄、以下「府中市」）の職員を対象に「生成AIリテラシー研修」「Microsoft Copilot活用・実践研修」を提供しました。

### ◆背景

府中市は、2024年7月から「Copilot for Microsoft 365」をはじめとした生成AIを導入し、庁内での活用を推進することで、職員の業務効率化を実現し、直接的な支援が必要な市民への対応時間の捻出や、職員のワークライフバランスの実現を目指していました。

そして、導入初年度となることから、利用開始に当たっては、職員が生成AIの特徴やリスク、利用方法等の基本的な事項を正しく理解し、安心して利用できるよう、Eラーニングを含めた基礎的な職員研修や、庁内での活用を推進するための庁内ニーズを取り入れた実践的な職員研修の場が求められていました。

### ◆研修の目的

700社以上のデジタル組織開発・人材育成の支援実績を持つAVILENは、MicrosoftソリューションパートナーとしてMicrosoft製品のライセンス購入から導入をトータル的にサポートする大塚商会と共同して、府中市役所職員に最適な学習プログラムを開発しました。

「生成AIリテラシー研修」「MS Copilot活用・実践研修」を通じて、生成AI活用に対する意識醸成と安全な利用方法習得を目的とした職員教育を提供しています。

# 「神戸市中小企業DXリーダー人材育成プログラム」を通じて神戸市内の中小企業のDX推進を支援 ～自社で実施可能な企画につながる実践型育成プログラムを監修・提供～

9月24日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000213.000043360.html>)

## AVILEN、「神戸市中小企業DXリーダー人材育成プログラム」を通じて神戸市内の中小企業のDX推進を支援

～自社で実施可能な企画につながる実践型育成プログラムを監修・提供～

株式会社AVILEN 2024年9月24日 10時00分



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、神戸市（市長：久元喜遠、以下「神戸市」）の経済観光局工業課が主催する「神戸市中小企業DXリーダー人材育成プログラム」の監修・提供を通じて、同市のDX推進を支援することをお知らせいたします。

### ◆神戸市中小企業DXリーダー人材育成プログラムの目的・概要

神戸市内の中小企業のDX推進を加速するため、経営課題を把握しプロジェクトを進行するビジネススキルやITスキルの習得講習、企業の状況に応じたテーマ別勉強会を通じて、企業内でDXを推進する役割を担うDXリーダー育成を支援する。

“DXリーダー”を企業内でDXを推進するプロジェクトリーダーとして、事業とテクノロジーを結びつける「翻訳者」となれる人材と位置づけ、現場で起きている課題に気づくとともに、その解決策を発想し、それを社内で自ら実行できる人材の育成を目指す。

### ◆プログラム概要

DXリーダーに必要な  
企画・推進の『型』を身につける

- 生成AIをはじめとするAI・デジタル技術の有効な活用法
- DXプロジェクトの推進・マネジメントノウハウ
- 最新技術を活用したアイデア・企画の考え方

# 見積書・請求書内容のシステム登録を自動化する生成AIソリューションを提供開始 ～人的な工数負荷の多い業務を自動化し、業務効率化と生産性向上を実現～

8月27日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000210.000043360.html>)

## AVILEN、見積書・請求書内容のシステム登録を自動化する生成AIソリューションを提供開始

～人的な工数負荷の多い業務を自動化し、業務効率化と生産性向上を実現～

株式会社AVILEN 2024年8月27日 10時00分



### 見積書・請求書の システム登録 自動化

工数負荷の多い業務を自動化し  
業務効率化と生産性向上を実現



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、見積書・請求書内容のシステム登録を自動化する生成AIソリューションを開発し、提供開始したことをお知らせいたします。

### ◆開発の背景

見積書・請求書の登録に人的工数をかけている  
→ 生産性向上のボトルネックに...

高負荷



単純作業に工数がかかる/  
目視で判断するため時間がかかる

属人化



経験値に頼らざるを得ない場合もある/  
担当者が変わるたびに引き継ぎが必要

見積書・請求書は企業間取引で欠かせないものであり、紙・PDFで膨大な数の社内処理が行われています。

内容の確認・デジタル変換、企業内で定義する費目への分類、システムへの登録といった一連の作業は人力で行われているケースが多く、相当数の人的工数がかかることから**生産性向上のボトルネック**となっているケースも少なくないのが現状です。

特に費目への分類に関しては、企業ごとに様々なルールがあり、社内独自の知見が求められることからシステム登録の自動化の大きな障害になっていました。経験値が必要な業務・属人化しがちな業務を、生成AI活用で効率化できる点が本ソリューションの最大の特徴です。

# 営業活動の効率化・高度化を実現する生成AIソリューションを提供開始 ～提案資料用の情報収集から想定課題の捻出、ソリューション提案まで一括サポート～

9月30日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000214.000043360.html>)

## AVILEN、営業活動の効率化・高度化を実現する生成AIソリューションを提供開始

～提案資料用の情報収集から想定課題の捻出、ソリューション提案まで一括サポート～

株式会社AVILEN 2024年9月30日 10時00分



### 生成AIソリューション 営業活動の 効率化・高度化

提案資料作成のための情報収集や  
想定課題の捻出などをサポート



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、営業活動の効率化・高度化を実現する生成AIソリューションを開発し、提供開始したことをお知らせいたします。

## ◆開発の背景

### 最適な提案を行うための準備に時間がかかる

ビジネス課題の洗い出し



リサーチに工数がかかる/  
(顧客の)業界に関する知見が必要

ソリューションの洗い出し



あらゆる解決策を考えなければならない/  
経験値に左右されやすい

+

営業活動では、顧客のビジネス・業界を正しく理解し、想定課題に対するソリューション・商材を提案することが重要です。

様々な業種業界の企業に対し、最適な提案を行うための綿密なリサーチが必要になるため、提案資料の作成に莫大な時間を要してしまうことが業務効率化のボトルネックになっているケースが少なくありません。

特に、業界に対する知見が不足している場合は課題・ソリューションを想定しづらく、営業担当者の経験値・知識に左右されない資料作成フローの標準化が求められていました。

# 生成AIを活用した 商談準備のサポートシステム

商談準備にかかる工数と、ベテラン社員による育成工数を大幅に削減

生成AI

## 課題

商談までのノウハウが社内で蓄積されておらず、新人/中堅社員に対してベテラン社員が模擬商談(本番に向けた練習)や資料レビューを行っていた。売上の大部分を牽引するベテラン社員の工数をできるだけ使わず、新卒/中堅社員の商談力を向上させる方法を模索していた。

## ソリューション

- 商談相手の企業名を入力すると、企業情報や企業/業界特有の課題を抽出し、ソリューション案を提示できるシステムを構築
- 調査・課題抽出・ソリューションの考案にかかる工数を削減し、更に粒度の高い情報を得ることが可能になった

## 成果

商談準備工数  
半分程度削減

ベテラン社員の稼働工数  
半分弱削減

商談準備にかかる時間  
数時間 → 数分に



# 会社説明資料作成における 生成AIを活用した翻訳プロセスの効率化

翻訳作業の大幅な効率化と、翻訳品質の均一化・向上を実現

生成AI

## 課題

社外関係者に向けた会社説明資料の作成(主に日本語資料の翻訳)において、これまでは外部に委託するか社内の翻訳者に依頼していた。しかし、外部委託コストの削減ニーズと翻訳者の高齢化による継続性の懸念が生じており、業務の属人化解消・効率化に向けて生成AIを活用したソリューションを模索していた。

## ソリューション

- 過去の会社説明資料から日英対訳データセットを構築
- 企業固有の表現や専門用語を学習させた生成AIモデルを開発
- 入力された日本語文章に対し、企業固有の表現を維持しつつ自動翻訳するシステムを構築

## 成果

1次翻訳工数  
数日 → 1日

外部委託コスト(年間)  
数百万円削減

翻訳品質の  
均一化&向上

社内ナレッジの  
蓄積&活用



# 音声認識と生成AIを活用した、 ウェビナー等の即時翻訳・自動レポート作成

手動で行っていた作業を自動化し、レポート作成にかかる時間とコストを大幅削減

生成AI

音声認識

自然言語処理

## 課題

クライアントでは、日々膨大に開催されるウェビナー等を視聴し、手動で文字起こしを行った上で、英訳と内容をまとめてレポートを作成しており、膨大な工数がかかっていた。かつ、配信終了からレポート作成まで約半日要しており、スピード感も課題であった。

## ソリューション

- 音声認識技術と生成AIを組み合わせ、日本中で開催されるウェビナー等の参加URLを登録するだけで、配信終了後に即時で英訳レポート。
- 専門用語辞書を作成し高精度の完全自動化レポートを実現

## 成果

レポート作成にかかる時間  
約**数時間** → **数分**に

レポート品質の  
**均一化**

レポート作成にかかるコスト  
**数万円** → **数百円**に

シフト管理作業  
**削減**

35

# 生成AIを用いたソフトウェア開発における仕様書の自動修正システム

ソフトウェア開発における実装コードと仕様書のズレを解消

生成AI活用

## 課題

ソフトウェア開発において、コード修正や古い実装により仕様書と実際の動作にズレが生じていることが課題になっていた。仕様書とコードの不一致がQA対応の障害となっており、手動での仕様書更新が追いついていない状況だった。

## ソリューション

- ChatGPT、GitHub Copilot、Cursorといった生成AIツールの活用・導入に関する技術調査を実施
- 「コードの変更履歴(diff)を基に仕様書を更新」「最新版コードを基に仕様書全体を更新」の2つのアプローチで自動修正を試行

➔ 特に具体的な数値の修正において一定の精度を達成

## 成果

仕様書の手動更新工数  
数十%削減見込み

最新の仕様を反映した  
QA対応が可能に

コードと仕様書の一致性向上による  
品質・開発プロセス改善



# ビルドアップパッケージ「E資格講座」が8期連続でE資格合格者数No.1※1を達成。 実績に裏付けられた高品質なコンテンツが、リピート受注を牽引

10月10日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000215.000043360.html>)

## AVILEN、8期連続でE資格の合格者数No.1を達成

～ 2024#2で新たに139名の合格者を輩出し、累計合格者数2,000名を突破～

株式会社AVILEN 2024年10月10日 10時00分



株式会社AVILEN（東京都中央区、代表取締役：高橋光太郎、以下「AVILEN」）は、一般社団法人日本ディーラーニング協会（以下「JDLA」）による「E資格2024#2」の結果発表を受け、合格者139名を輩出し、**8期連続で合格者数No.1を達成**(※1)したことをご報告します。

今後もAIエンジニアを目指す受講生の皆様へ、最高のE資格対策講座をお届けできるよう、講座およびサポートの品質向上に努めて参ります。

※1 | JDLAのE資格実績報告より

## ◆開発の背景

### 最適な提案を行うための準備に時間がかかる

ビジネス課題の洗い出し



リサーチに工数がかかる/  
(顧客の)業界に関する知見が必要

ソリューションの洗い出し



あらゆる解決策を考えなければならない/  
経験値に左右されやすい

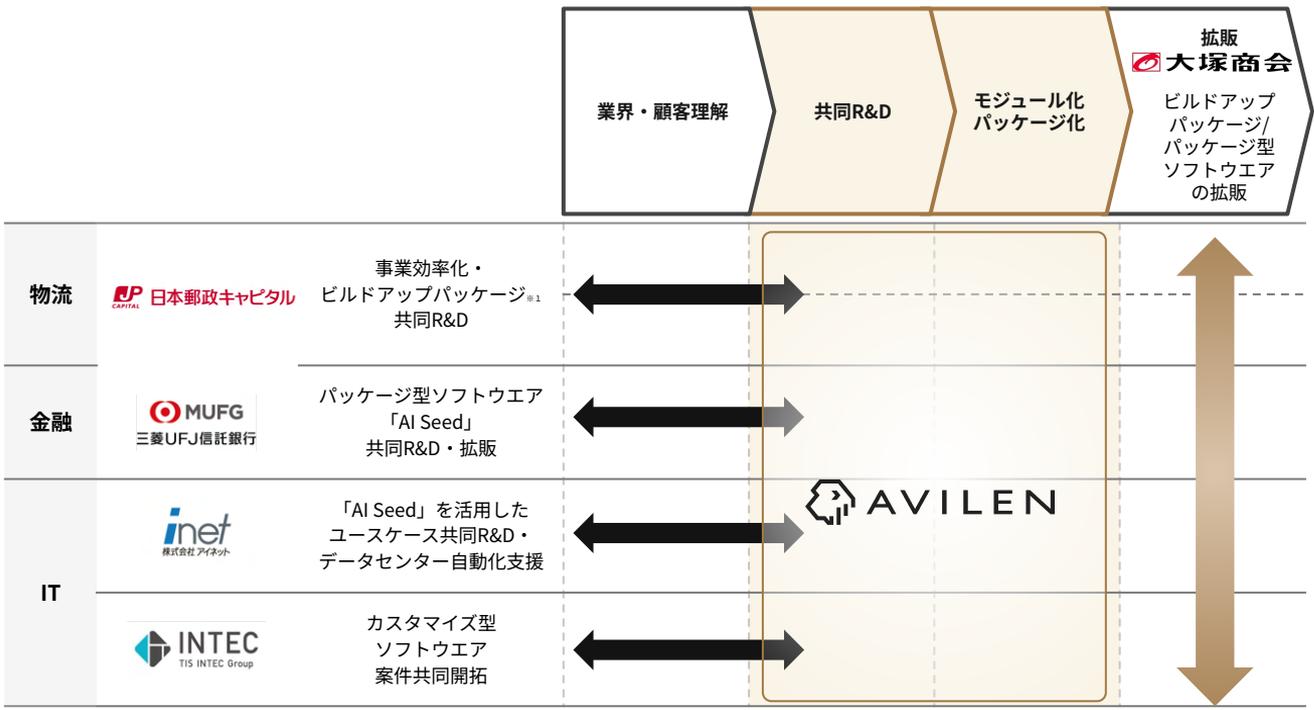
+

営業活動では、顧客のビジネス・業界を正しく理解し、想定課題に対するソリューション・商材を提案することが重要です。

様々な業種業界の企業に対し、最適な提案を行うための綿密なリサーチが必要になるため、**提案資料の作成に莫大な時間を要してしまうことが業務効率化のボトルネック**になっているケースが少なくありません。

特に、業界に対する知見が不足している場合は課題・ソリューションを想定しづらく、**営業担当者の経験値・知識に左右されない資料作成フローの標準化**が求められていました。

# 非連続的な成長を行うための戦略的資本関係等を構築し、実績の積み上げを目指す



### 現状の取り組み

- 大塚商会、三菱UFJ信託銀行等の大手上場企業との資本業務提携を締結

### 戦略

- M&Aについては、自社のケイパビリティ拡充やAI活用による買収先のバリューアップを目的とした実施が考えられる
- 戦略的パートナーシップを締結しているジャパンインベストメントアドバイザーとも連携
- パートナリングについては、①当社の提供サービス・プロダクトのクオリティを向上させる顧客・業界課題の把握フェーズでの連携と、②当社のパッケージ化された製品（主にChatMee）を効率的に販売する拡販・顧客サービスフェーズでのパートナーリングを強化する

### 目標

- FY24において、一層の成長を行うため、確実に実績を積み込むことを目指す
- ChatMeeについても、パートナー企業と連携しながら更なる導入数の拡大と解約率0%を目指す

# 非連続的な成長を目指し大塚商会とのシナジー創出に向けた多角的な取り組みを推進



# 株式会社大塚商会と「Copilot for Microsoft 365 活用研修」の共同開発および講座提供を開始

4月2日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000197.000043360.html>)

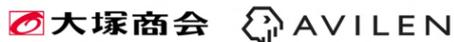
## AVILEN、株式会社大塚商会と「Copilot for Microsoft 365 活用研修」の共同開発および講座提供を開始

～Copilotのビジネス活用に必要な要素を数時間に凝縮して学習できる～

株式会社AVILEN 2024年4月2日 11時00分



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、株式会社大塚商会（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大塚 裕司、以下「大塚商会」）と「Copilot for Microsoft 365 活用研修」を共同開発しました。



### ◆研修内容



「Copilot for Microsoft 365 活用研修」は、Copilotのビジネス活用に必要な要素を数時間に凝縮して学習できるEラーニング+ワーク形式のオンライン研修です。

#### ●受講対象

Copilotを導入する企業の実業員

#### ●概要

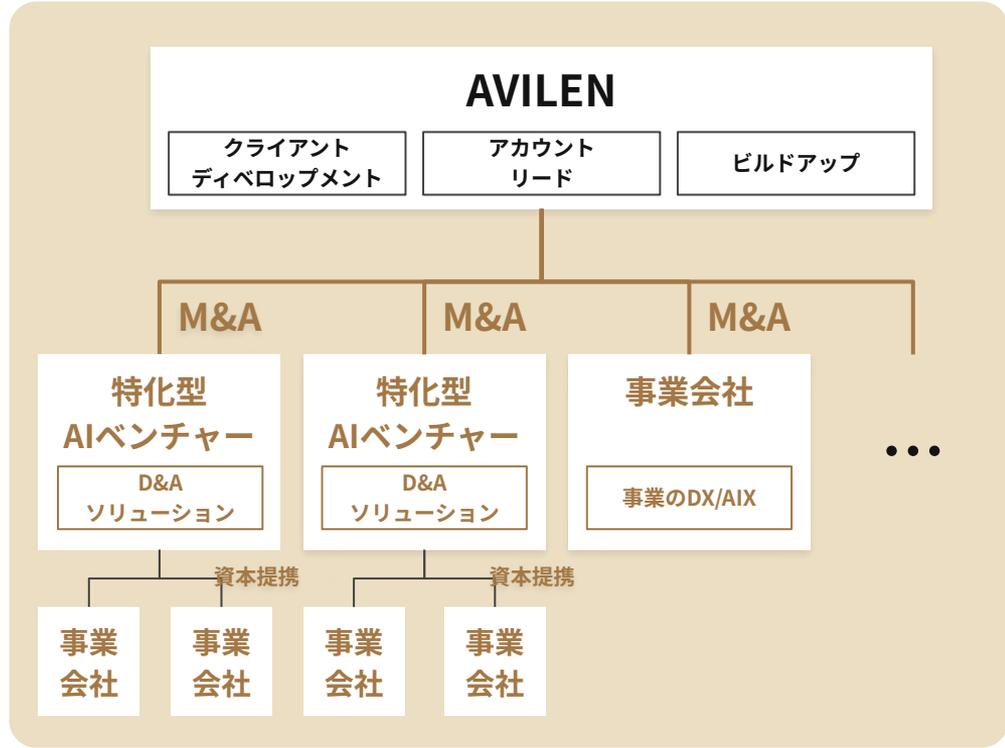
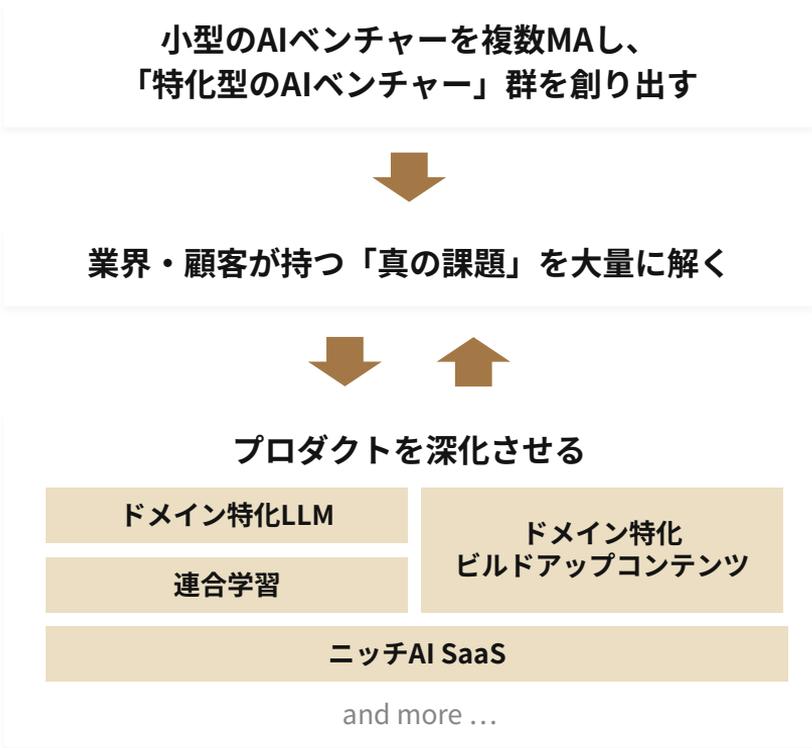
Copilotの全体像を把握し、基礎的な機能を理解できる

#### ●期待できる成果

Copilotを各従業員が活用することで業務効率化を図り、生産性を大幅に向上させる

実際に手を動かして使い方を学ぶワークもあるため、実務ですぐに役立つCopilot活用スキルが身につきます

# 2025年12月期以降は、Tier戦略で得た知識と事業基盤を活用し、 「M&Aによるケイパビリティの獲得」や「プロダクトの深化」に取り組む



# 生成AI領域に特化したエンジニア集団である株式会社LangCoreの連結子会社化を2024年10月11日にリリース。2024年12月期4Qより連結開始

目的	早期にシナジー(※)を創出し、両社の短期的な収益向上と中長期的な事業拡大を目指す ※ P.43参照		
ディール	・ 100%株式取得（4億円）による連結子会社化 ・ 2024年12月期4Qより業績取り込み		
会社概要	・ 生成AI関連システム受託開発とAI活用コンサルティングを軸に業容急拡大中 ・ 2023年6月の設立で既に黒字化、高利益率を生み出す収益構造		
業績※1	決算期	2023年12月期 通期実績	2024年12月期 半期実績
	売上高	12,711千円	73,819千円
	営業利益	6,898千円	45,996千円



北原麦郎 Kitahara Mugiro  
共同代表取締役CEO 兼 CTO

2019年東京大学大学院工学系研究科を卒業後、フリーランスとして複数のスタートアップでエンジニアとして開発を担当。2020年2月デロイトトーマツコンサルティングにてDXを推進する部隊にてシニアソフトウェアエンジニアとして従事。その後株式会社LangCoreを創業。



高木陽介 Takagi Yosuke  
共同代表取締役CEO 兼 COO

同志社大学理工学部を卒業後、新卒で楽天に入社し、楽天モバイル部門の無線基地局エンジニアリング部隊の立ち上げに従事。その後、HRBrainにソフトウェアエンジニアとして移籍。2021年にインフルエンサーエージェンシー事業会社を創業し、2022年4月にM&Aでイグジット。2023年 株式会社LangCoreを共同創業。

※1 | 現時点で把握している実績であり未監査の数値。2024年12月期4Qより連結開始予定で、連結対象となる4Qの業績見込みについては精査中。

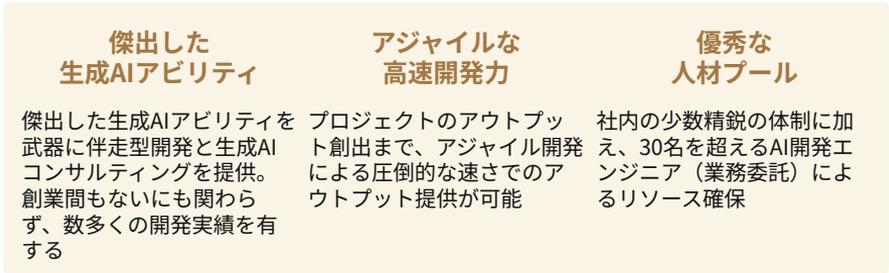
# 早期にシナジーを創出し、 AVILEN・LangCoreの短期的な収益向上と中長期的な事業拡大を目指す

環境 | 生成AIが新たな市場を創出し、AIソフトウェアの需要拡大に伴い「真に価値のある生成AI活用のニーズ」が顕在化

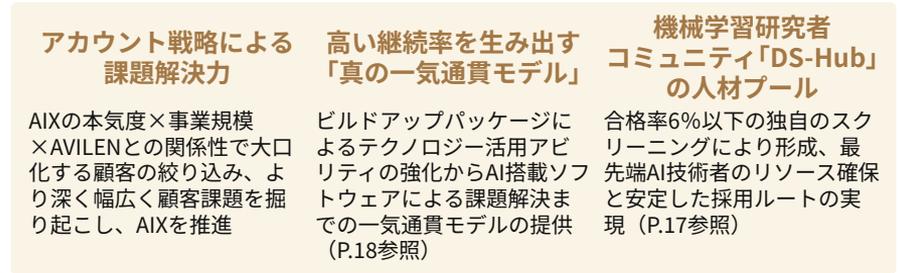
## 想定シナジー



## LangCoreの強み



## AVILENの強み



# APPENDIX

## 会社概要・財務諸表

## 会社概要

会社名	株式会社AVILEN
住所	〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-3-3 秋葉原ファーストスクエア9階
設立	2018年8月
資本金	5,392万（2024年9月末時点）
従業員	62名（2024年9月末時点）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● 生成AI等をはじめとした技術コアモジュール「AVILEN AI」を活用した、AIソフトウェアの開発および実装</li><li>● AI-Readyな企業に対してAIドリブンなビルドアップパッケージを提供</li><li>● AIトランスフォーメーション推進のための戦略策定および実行支援</li></ul>

## 損益計算書

(千円)	23年3Q	24年3Q	前年対比	
売上高	651,906	<b>880,588</b>	+228,682	+35.1%
(AIソフトウェア)	331,731	<b>563,002</b>	+231,271	+69.7%
(ビルドアップ)	320,175	<b>317,586</b>	△2,588	△0.8%
売上原価	198,587	<b>267,417</b>	+68,829	+34.7%
売上総利益	453,318	<b>613,171</b>	+159,853	+35.3%
販売費及び一般管理費	343,049	<b>494,694</b>	+151,644	+44.2%
営業利益	110,268	<b>118,477</b>	+8,208	+7.4%
四半期純利益	71,644	<b>76,908</b>	+5,264	+7.3%

## 貸借対照表

(千円)	23年度	24年3Q
流動資産	532,827	<b>601,291</b>
現金及び預金	279,689	<b>244,292</b>
売掛金及び契約資産	221,631	<b>304,234</b>
固定資産	92,126	<b>92,233</b>
有形固定資産	432	<b>5,570</b>
無形固定資産	63,657	<b>58,624</b>
投資その他の資産	28,037	<b>28,037</b>
資産合計	624,954	<b>693,524</b>

(千円)	23年度	24年3Q
流動負債	209,249	<b>196,572</b>
負債合計	209,249	<b>196,572</b>
株主資本	414,310	<b>495,557</b>
資本金	51,760	<b>53,929</b>
資本剰余金	48,760	<b>50,929</b>
利益剰余金	313,790	<b>390,698</b>
新株予約権	1,395	<b>1,395</b>
純資産合計	415,705	<b>496,952</b>
負債純資産合計	624,954	<b>693,524</b>

# APPENDIX

## 実績・取り組みの例

# 法人向けChatGPT「ChatMee」が最新モデルのGPT4oに対応 画像や表などの読み取り機能を強化し、回答精度を向上

6月18日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000202.000043360.html>)

AVILENが提供するChatGPT活用プラットフォーム「ChatMee」、  
最新モデルのGPT4oに対応

～画像や表などの読み取り機能を強化し、回答精度を向上～

株式会社AVILEN 2024年6月18日 11時00分



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）はChatGPT活用プラットフォーム「ChatMee」のアップデートを実施し、OpenAIの最新生成AIモデル「GPT-4o」に対応したことをお知らせいたします。

## ◆「GPT-4o」対応の背景

「GPT-4o」は、より自然なAIとのコミュニケーションを実現したOpenAIの最新生成AIモデルです。テキスト・音声・画像・動画を任意の組み合わせでインプットすることができ、従来モデル以上の速度で高精度の回答が得られます。また、特に視覚と音声の理解に優れている点も特徴です。

## ◆今後の展望

「GPT-4o」対応のアップデートを経て、アップロードしたファイルを参照できるファイルプロンプト機能の大幅アップデートを予定しています。

GPT-4oによりドキュメントの読み取り機能が強化されることでより高精度な回答を実現するとともに、独自開発した専用UIを追加することでドキュメントに対するシームレスな翻訳・要約・QAを提供します。

また、GPT-4oにマッチした最新の料金プランも展開して参ります。

# 法人向けChatGPT「ChatMee」を業界最安値（※1）で提供開始

6月25日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000203.000043360.html>)

## AVILEN、高セキュリティの法人向けChatGPT「ChatMee」を業界最安値（※1）で提供

～1人あたり月額150円（税込165円）でエンタープライズも導入するセキュアな法人向けChatGPTプラットフォームを提供開始～

株式会社AVILEN 2024年6月25日 11時00分



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、既存契約企業様含む9月末までのお申し込み企業を対象に、ChatGPT活用プラットフォーム「ChatMee」の価格改定を実施し、業界最安値（※1）で提供開始することをお知らせいたします。

### ◆価格改定の背景

弊社が掲げる「データとアルゴリズムで、人類を豊かにする」のパーパスを体現するには、より多くの方々に生成AIのビジネス活用に挑戦いただくことが重要と捉えています。

そのため、**大手企業にも導入されているセキュアな環境が特徴の法人向けChatGPTプラットフォーム「ChatMee」**をこれまでにない安価な価格で提供することで導入のハードルを下げ、ビジネス変革の一助を担うことができればと考えています。

### ◆「ChatMee」の新価格プラン

2024年6月25日から提供を開始する「ChatMee」の新価格プランは下記の通りです。

（※2024年9月末までにお申し込みいただいた企業様が対象になります）

料金	最低利用人数	最低契約期間
1名あたり150円/月 （税込165円）	100名～	12ヶ月契約

# 愛知県尾張旭市の生成AI活用試行に 法人向けChatGPT「ChatMee」のデモを提供

4月24日配信のAVILENコーポレートサイト内ニュース (<https://avilen.jp/news/371064/>)

2024.04.24 | メディア掲載

この記事シェア  

## 愛知県尾張旭市の生成AI活用試行に、法人向けChatGPT「ChatMee」のデモを提供しました



愛知県の尾張旭市が令和7年度からの生成AIサービスの導入に向けて取り組んでいる「生成AIの活用試行」に、弊社の法人向けChatGPTサービス「ChatMee」のデモを提供しました。

AVILENは、「ChatMee」の提供や生成AI活用のアドバイザー等を通じて、自治体のAI活用/DX推進の支援を本格化してまいります。

## 免責事項及び将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。